

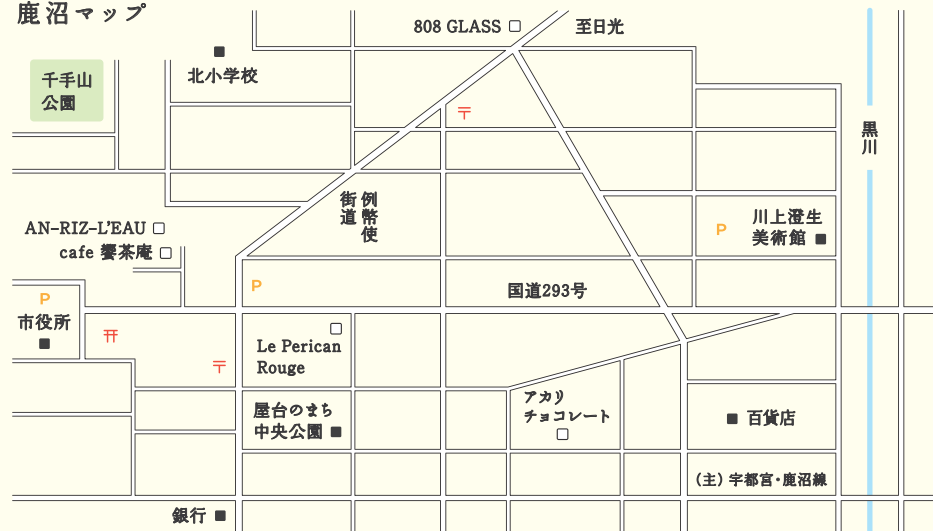
Machi Furari

machifurari

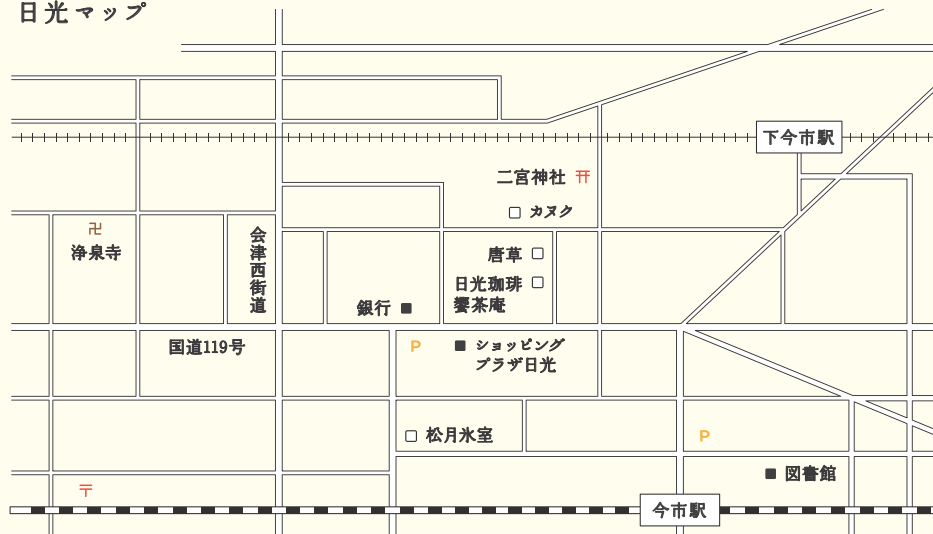


Machi Furari

鹿沼マップ



日光マップ

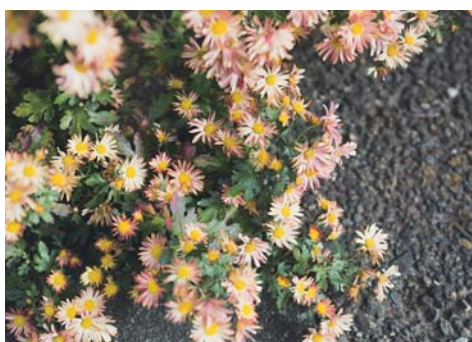


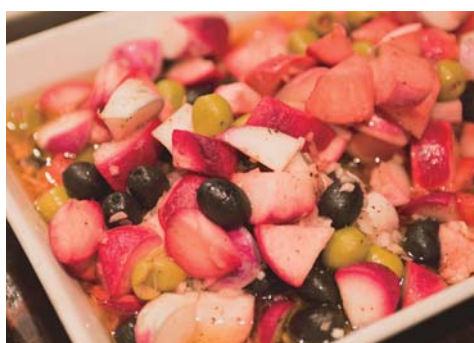
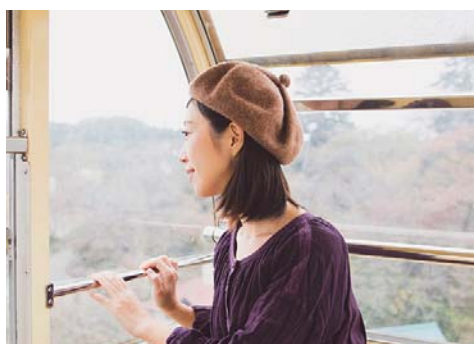
発行 / 栃木県まちなか元気会議（栃木県まちなか元気会議事務局 | 栃木県県土整備部都市計画課）
Tel / 028-623-2464 Fax / 028-623-2595

「栃木県まちなか元気会議」は栃木県と県内16市町によって構成される協議会で、中心市街地の活性化推進を目的に普及啓発事業を行っています。

hika

凜とした空気に、あもわず私の背もまっすぐ伸びて
 しまふ。樹齢三八〇年をこえるあまきな杉を見上げ
 ながら、澄んだ空気を胸いっぱい吸いこんでみた。
 木々の間からきれいな光が差し込んで、深い緑色の
 道を照らしている。わたしのあじいちゃんが生まれる
 ずっと前からここにあるんだな。と、この道を通った
 昔の人たちを想像しながら、どこまでも続く杉並木
 を歩いた。このまま、まらのほうへ行ってみようかな。
 そういえば美味しいスコーンが食べられるお店が
 あるんだっけ。友だちに聞いたお店のある白い壁の
 長屋を指して、石畳の小路の角を曲がった。見つ
 けた建物は、きれいに直してあるけれど、だいふ昔
 から建っているようで。ガラガラと引き戸を開けると、
 タイムスリップしたみたいなどこか懐かしい空間
 が目の前に広がった。「いらっしやいませ」と店員
 さんがわたしを席まで案内して、「ここは、宿として
 使われていた建物なんです」と珈琲を入れながら
 話してくれた。このまちはいつも今と昔が隣りあわ
 せのような気がする。古いものを壊さず守りながら、
 次の世代に残すために大切に使うこと、歴史や文化を
 次の世代へと受け継ぐこと。そんな当たり前だけど
 忘れてしまっていた、わたしのあじいちゃんは何度
 も教えてくれたとても大切なことを、このまちは、
 もう一度教えてくれた。





Kanuma

穏やかな秋空の下、心地よい日差しを浴びながらまちを歩く。この道は昔、東照宮へ訪れる人たちが行き交った歴史ある道で、その宿場町として栄えたのが鹿沼だそう。たぐさんの職人さんたちがここに集まって、木工や建築の技術をまちのみんなに残したんだって。そんな話を聞いたからか、大きな窓のむこうで職人さんが何か作っている姿が目にとまった。お店にはガラスでできた、きれいなコップや花瓶が並んでいて、奥の工房から職人さんが顔をだして、「よかったら、工房も見てくださいか？」と声をかけてくれた。アメミtainなガラスが形になる工程を眺めていると、手仕事の難しさとモノづくりの繊細さが伝わってくる。お札をいって、落ち葉が広がる路地を歩きはじめる。「絨毯みたい」と自然に声がでちゃって。その道沿いにはご飯屋さんや、チョコレート屋さん。さらに奥へ進むと、「根古屋路地」という看板を見つけた。その路地にある小さな小屋の中で、ジャズを聴きながら珈琲豆を焙煎している店主さんと出会った。「この辺のお店は、ほとんど自分たちで改装して作ったんだ」と、笑顔で教えてくれた。かつての職人さんたちの手仕事の精神が今も受け継がれているんだな。真剣な眼差しで手元を見つめる店主さんをみて感じたこと。大切な想いは、いまでも、まちで生きている。



まちを知ること。

風間 僕は仕方なく鹿沼に戻ってきたのに、今では鹿沼への愛着があるんです。菊地 鹿沼のお店や、住んでいる人たちはみんな個性的ですよ。風間 そうなんだよね。周りのおかげで、鹿沼も面白いなって魅力に気付いて、気持ちが変わ化していった。菊地 なるほど。まちに気付かされるとこって、たくさんありますよね。僕はまちに育ててもらっていることが多いです。風間 鹿沼も日光も古いまちだから「知らないから行ってみよう」という、住んでいる人の受け皿がしっかりしている。だから、若者が新しいことを始めても、年配の方も興味をもってくれて、繋がりができたり。菊地 実際に僕もお店をはじめてから、地元の人たちが来てくれて、いろんなことを教えていただいたんです。建物があるから、まちができるのではなく、住んでいる人の繋がりが、まちをつくっていると感じました。風間 まちの魅力を知るのは大切で、それをお店を通じて伝えていけるようになったらと思っていますね。菊地 風間さんのお話はまさに自分の課題です。僕のお店でもこれからそういう動きをして、まちを巻き込んでいければと思っています。

「これから」に大切なこと。

菊地 実は僕がカヌクを引き継いだのは、風間さんのお店を中心にまちを盛り上げているのを見て、自分もまちのために何かしたいと思ったからなんです。風間 まちには、ワクワクするものが必要なんだよね。空き家がお店になって、人がたくさん来てくれるようになって、まちがにぎやかになって。でもそれで満足しないで、お店もまちも成長し続けることが大切なんだと思います。菊地 今市は、今が新しいまちの魅力をつくる時なんだと思うんです。中心市街地の再開発や、進む高齢化のなかで、古いお店が閉まって新しいお店が始まる。今までの日常が様変わりしています。風間 そうだね。でも若者のことだけを考えるんじゃなくて、年配の方々にとっても楽しいまちにすることも大切だね。みんなが誇れるまちじゃないと魅力がつかれないからね。菊地 個々でなにかをするのではなく、まち全体で大きな動きができるよう、積極的に関わっていきたいと思っています。風間 お店が中心になって、出来ることはまだまだたくさんありそうだね。まちのために、一緒に何かできる仲間がもっと増えていったらいいな。



ま
ち
と
ひ
と

右 風間 教司 / カフェ饗茶庵 本店

栃木県鹿沼市上村木町1737

Tel. 0289-60-1610

Open. 11:30-21:00 / close. 月・第3火曜

url. niko-coffee.com

左 菊地 雄太 / カヌク

栃木県日光市今市741

Tel. 050-3591-3054

Open. 10:00-16:00 / close. 不定休

url. www.kanuku.jp

日光の木彫り

日光東照宮の建立後、腕利きの彫物大工たちが、生活を営むためにつくりだした工芸品。それが日光に広がり、江戸中期に「日光彫」と名付けられました。木地師・彫師・塗師で分担してつくられる「日光彫」について、彫師の中瀬さんは、「日光彫」ならではの引っかかり刀を手にしながら話してくれました。「牡丹やツツジなど、日光に咲く花々が、絵のモチーフになることが多いですね」。花を表現するときには、木地の上に、花を生き生きと咲かせるように。一本一本の線を、彫刻刀で丁寧に彫っています。花木や、動物など、生命そのものを表現するように、木地に絵を描いていく。それが、彫師にとって、いちばん大切なこと。「日光彫は、私の生きがいです。この先、ご飯が食べられなくなっても、きつと、彫刻刀は持ち続けたいと思います」。そう話してくれた、中瀬さんの手と彫刻刀は、日光の美しい花々を、生き生きと咲かせ続けています。

日光木彫りの里工芸センター

栃木県日光市所野2848 / Tel. 0288-53-0070

open. 9:00-17:00 / close. 木曜日 (9-10月は無休)

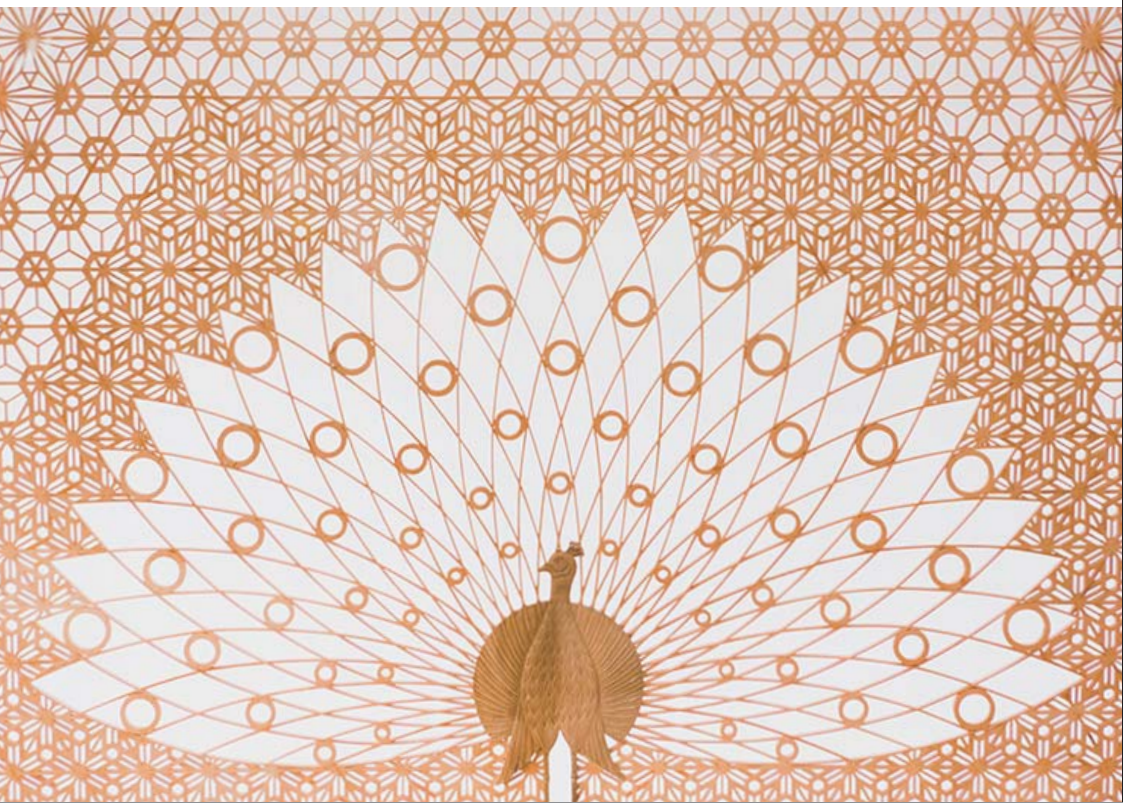
鹿沼の組子

中国から江戸。江戸から日光へと伝わってきた組子の文化と技術は、屋台のまち鹿沼にて発展していきました。イカダで材木を運んでいた時代、「黒川」や「思川」といった大きな川が、鹿沼の林業を豊かに。しかし、時代の移り変わりとともに、建具屋や組子職人の数は減少してしまいました。そんな時代のなかで、「吉原木芸」さんは、組子の伝統を大切にしつつ、これからの組子という視点でのモノづくりに励んでいます。常に向上心を持って、新しいことに、積極的に取り組んでいく姿勢がなによりも大切なんです。難易度の高い孔雀を表現した衝立の組子や、コースター・携帯電話スタンドといった新しい組子は、「吉原木芸」さんならではの作品。「組子は、一生をかけた勉強。技術が上達するだけではダメなんです。組子に対する情熱と愛がなければ」。吉原さんの組子に対する気持ちは、前へ前へと進んでいく組子の文化をつむいでいました。

(有) 吉原木芸

栃木県鹿沼市仁神堂51-1 / Tel. 0289-65-4600

open. 9:30-17:00 / close. 土・日・祝日







今回のモデル

広沢 真奈美さん

私が生まれ育った町とは違うけれど、今回の撮影で鹿沼も日光も大好きになりました。歴史、文化、自然、人が調和した魅力たっぷりのまち。穏やかな時間を過ごせる材料が何でも揃っていました。是非、一人でふらっと、大切な人とすてきな時間を、来て、見て、感じてください。

Kachi Furui

撮影協力

日光市
旧江連家／カヌタ
唐草／松月水室
日光珈琲 饗茶庵
報徳庵
鹿沼市
マクリチャント
AN-RIZ-LEAU
川上澄生美術館
千手山公園
屋台のまち中央公園
808 GLASS
Le Perican Rouge



宇都宮市 / 宇都宮イルミネーション2014
シンボルロードやパンパ通りなど、宇都宮の中心市街地を、彩り鮮やかなイルミネーションが飾り立えます。
期間 / 1月15日[木]まで 時間 / 17:00-21:00
場所 / オリオンスクエア・まちかど広場など 問合せ / 宇都宮まちづくり推進機構 Tel. 028-632-8215



鹿沼市 / 花市
ダルマやあ飾りの縁起物、それにおいしい食べ物など、500店の露天商が各地から集まります。
期間 / 1月24日[土] 時間 / 10:00-21:00
場所 / 鹿沼市末広通り周辺 問合せ / まちの駅 新・鹿沼宿 Tel. 0289-60-2507



栃木市 / うずま冬ほたるキラフェス2014
巴波川の兩岸を、冬のホタルをモチーフとした3万個のイルミネーションが鮮やかに彩ります。
期間 / 11月1日[土]-1月12日[月] 時間 / 17:00-23:00
場所 / 巴波川幸来橋周辺 問合せ / 栃木市観光協会 Tel. 0282-25-2356 栃木市商工観光課 Tel. 0282-21-2374



真岡市 / 初市（だるま市）
五行川の沿道に、ダルマ・あ飾り・植木などの露天商が立ち並びます。ぜひ、寿くじて新春の運試しを。
期間 / 1月11日[日] 時間 / 9:00-18:00
場所 / 真岡市役所前東側道路 問合せ / 真岡市観光協会 Tel. 0285-82-2012



小山市 / 初市・だるま市
無病息災と商売繁盛を願って開催される初市。出店ブースには、福引きやチャリティー豚汁などが並びます。
期間 / 1月12日[月] 時間 / 10:00-15:00
場所 / 小山駅西口祇園城通り歩道・他 問合せ / 実行委員会 Tel. 0285-22-9273



佐野市 / FANTASTIC ILLUMINATION in SANO 2014
きらびやかにライトアップされた幻想的な空間が、今年も佐野駅前いっぱい広がります。
期間 / 11月22日[土]-3月15日[日] 時間 / 17:00-22:00
場所 / 佐野駅前交流プラザ周辺 問合せ / ばるぽーと Tel. 0283-27-0005



足利市 / 節分鑑年越
春を呼ぶ伝統行事、「鑑年越」を節分の夜に開催。坂東武者に扮した市民の行列は、圧巻です。
期間 / 2月3日[火] 時間 / 19:00-20:30
場所 / 織姫公民館(通6丁目)-鑑阿寺(家富町) 問合せ / 立春会(事務局:鑑阿寺) Tel. 0284-41-2627



日光市 / 今市花市
ダルマや熊手といった縁起物に、食べ物や植木などの露店がずらりと並び、新春恒例のお祭りです。
期間 / 2月11日[水] 時間 / 10:00-18:30
場所 / JR今市駅前通り・中心市街地内 問合せ / 今市花市実行委員会 Tel. 0288-30-1171



大田原市 / 第8回とうがらしフェスタ in 大田原 2014
唐辛子の郷「大田原」で開催される「とうがらしフェスタ」。唐辛子のアクセサリー作り体験もできます。
期間 / 12月6日[土]-12月7日[日] 時間 / 10:00-16:00
場所 / トコトコ大田原 問合せ / 大田原商工会議所 Tel. 0287-22-2273



さくら市 / 氏家雛めぐり
さくら市氏家地区に代々伝わる雛人形の文化。その伝統の素晴らしいさと、楽しく体験してみてください。
期間 / 2月上旬-3月上旬 時間 / 各施設による
場所 / さくら市氏家商店街地区など 問合せ / NPO法人 氏家まちづくりActive Tel. 080-1132-7820

まちなか元気Newsについて

『まちなか元気News まちふり』は、多くの人に栃木県内の中心市街地に訪れていただけるよう、「まちなか」の魅力を紹介する冊子です。歩くまちは、毎月2市町ずつ。次号は、真岡市・下野市となります。どうぞお楽しみに。